

レビューシート（令和４年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式 3

レビュー項目 (事業名)	スタートアップとの連携促進など異業種交流の活性化 (異業種交流活性化支援事業)				部(局)	産業労働部				
					所管課	地域経済課				
					担当班	経営支援班				
					連絡先	078-362-3313				
開始年度	平成26年度	終了年度	令和５年度	関連計画等	—					
事業区分	☐ 国補助事業 ☐ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等	商工会議所連合会等				
事業目的	消費者視点に立ち、従来の技術中心の異業種交流だけではなく、サービスや商業などのソフト事業も含む幅広い分野においてビジネスパートナーや事業連携の可能性を発掘する取組を支援し、新分野進出、新商品・新サービス・新技術開発、販路開拓等の促進を目指す。									
事業概要	県内の商工会議所、商工会、兵庫工業会、兵庫県工業技術振興協議会、兵庫県中小企業団体中央会の会員企業及びひょうご産業活性化センターの関係企業を中心メンバーとして活動する異業種交流グループに対し、交流会や研究・開発、販路開拓等に要する経費を補助（上限150万円／２年間）									
業務フロー										
R4レビュー時の 外部委員会意見	・スタートアップ事業者との連携を考える場合、つながりの工夫が必要であり、ハードルが高いと思える。異業種間やスタートアップとの連携にこだわる必要はないのではないか。 ・支援対象のグループ数を絞って重点的に支援する方がよいのではないか。 ・２社等少数のグループでのスタートも認め、後から別企業の参加も認めるような仕組みを検討してはどうか。 ・補助は企業の努力を促すよう定額ではなく定率補助を検討してみてもどうか。									
改善結果 (改善状況 取組過程)	県内各地域にあらかじめ存在する商工グループによる新商品開発等を念頭に置いた「異業種交流事業」を、県内企業と県内外のスタートアップ等とのまだ見ぬ共創に向けたマッチングを行うコミュニティの形成を目指す「ひょうごオープンイノベーション推進事業」に組み替え。 ※R5年度から組み換えすることとなったため、R5年度は継続事業分のみ実施									
事業に要するコスト	区 分		4 年度決算額		5 年度決算額		6 年度当初予算額		7 年度当初予算額	
	事業費①		30,937 千円		18,942 千円		0 千円		0 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	30,353 千円		18,942 千円		0 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	584 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(15,468千円)		(9,471千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(15,469千円)		(9,471千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		53,611 千円		19,645 千円		0 千円		0 千円	
	執行率((①/②)×100)		57.7%		96.4%		—		—	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.0人	従事人員	0.0人
			4,129 千円		4,125 千円		0 千円		0 千円	
		職員給与費 a	3,568 千円		3,578 千円		0 千円		0 千円	
		賞与引当金繰入額 b	292 千円		297 千円		0 千円		0 千円	
	退職手当引当金繰入額 c	269 千円		250 千円		0 千円		0 千円		
総コスト(①+③)		35,066 千円		23,067 千円		0 千円		0 千円		

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

	指標名	区 分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	60%	60%	—	—	60%
		実績（見込）	73%	89%	—	—	【R5年度】
		(単位当たりコスト)	(48,036 千円)	(25,918 千円)	—	—	
		達成率（見込）	121.7%	148.3%	—	—	
	成果指標(アウトカム指標②)	目 標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	成果指標(アウトカム指標③)	目 標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	40	40	—	—	40
		実績（見込）	10	0	—	—	【R5年度】
		(単位当たりコスト)	(3,507 千円)	(0 千円)	—	—	
		達成率（見込）	25.0%	0.0%	—	—	
	活動指標(アウトプット指標②)	目 標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標(アウトプット指標③)	目 標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	○有（令和5年度で事業終了） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・異業種交流による企業間のネットワーク構築のみならず、新商品開発等により地域活性化にも繋がる効果的な事業である。 ・概ね7～8割、R5年度は9割近く(目標6割)のグループが新商品開発や販路開拓等の目的を達成できたと回答し、高い実績をあげた。		A：満足のいく実施状況	ポストコロナを踏まえDXや新技術の活用等により多様なニーズに応える商品開発・販路開拓の取組を推進し、成果指標は目標を超える実績となった。	
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		勤労者の能力向上に資する事業として、財源の1/2に法人県民超過課税を充当している。			※なお、本事業は事業改善レビューの結果を踏まえ、R4年度限りで新規採択を中止し、R5年度で事業を終了となったため、新規事業のみカウントする活動指標のR5実績は0件となっている。	
	課題・今後の方向性 □ 改善 □ 他事業と統合 □ その他						
評価	説明 R5年度から新産業課の新事業である「ひょうごオープンイノベーション推進事業」へ統合され、県内中小企業の新分野進出、新商品・新サービス・新技術開発、販路開拓等を引き続き支援している。						
外部委員会意見	○委員会の意見を踏まえ、スタートアップとの連携の在り方や支援対象の柔軟化、補助制度の見直し等について検討がなされ、R5年度からは「ひょうごオープンイノベーション推進事業」へと統合・再編された点は、改善の方向性として評価できる。 ○また、成果指標においては、目標を大きく上回る達成率を示しており、事業の有効性が裏付けられている。 ○今後は、統合後の新事業においても、企業間のマッチング支援や成果の可視化、支援の継続性確保に留意しつつ、より実効性の高い支援スキームの構築が期待される。						